

代表質問

11月定例会では、内田隆嗣議員（鳥取県議会自由民主党）が県行財政上の諸問題について、会派を代表して質問を行いました。

鳥取県議会自由民主党



内田 隆嗣 議員
選挙区 米子市

米子駅南北一体化事業

問 米子駅の南北一体化構想は、駅の南北を自由通路でつなぎ、米子駅を橋上駅とする、また駅南広場を整備するという内容だ。しかし、当初試算によると、事業費は60数億円に上り、米子市財政の負担がネックとなり、構想は凍結されたままという状況だ。この事業と一体的に対応する必要がある駅ビルの法律による耐震改修期限も平成27年度末に迫る中、JR側は耐震改修をするのか、支社を移転するのか、ぎりぎりの決断を迫られていると聞いている。そうなれば駅周辺の空洞化や地元経済への影響ははかり知れないが、米子市は過大な財政負担により対応がで

きないという主張を繰り返しているのが現状だ。事態は切迫しているので、私なりに提案をしていきたいと思う。鳥取県と米子市が提携し、南北自由通路も含めた米子駅周辺の環境を整備し、山陰本線鉄道発祥の地として新しいまちづくりを推進するべきものと考えます。平井知事の前向きな所見を伺う。
答 質問を伺って、なるほどもともとだなというふうにいる。JRが支社機能を移転する、地域の皆さんの熱意で米子は鉄道のまちとして出発し、進化をしたという根本が崩れてしまっているのではないかと。いうふうにいる。支社を移転するというJRの動きがあることは事実だと話を聞いた。それは、この12月の段階で市長が決断をしなれば局面が変わってしまう。ぎりぎりのデッドラインに今、我々は立たされているということを知り、深刻に受けとめている。米子市の事業として取り組むとしたら余りにも過大な負担が生じるのではないかと、それが足かせになって12月に決断ができず、それでJRの支社機能が移転してしまつという引き金を引くということにならないように鳥取県として応援をする気持ちはある。

県立博物館のこれから

問 鳥取県立博物館は建築後40年以上が経過し、建物本体の経年劣化による雨水の浸入が生じているほか、電気、機械の諸設備の耐用年数を超過し、収蔵庫の温湿度調整が脆弱であるなど、老朽化が著しい。自然・歴史民俗系の展示と美術系の展示を切り離し、県立博物館を県立美術館として利用し、別に自然・歴史民俗館をどこかに新築する、またその逆もある。早急にそのあり方の方向性を打ち出す必要があると思うが所見を伺う。
答（教育長）美術館新設が、財政の状況により凍結されたが、その後、15年近くが経過して、将来を見据えて博物館のあり方を根本的に検討する。
（知事） 博物館の機能として自然科学系、人文系、美術系がある。県民がどのような機能充実強化をして欲しいのか見定め、県教委と精力的に協議したい。



一般質問

11月定例会では、24人の議員が質問を行いました。本紙では、各議員の質問の中から、質問と答弁の要旨を掲載します。なお、議事録の全文は、県議会ホームページからご覧になれます。

心の農業 畜産振興

小谷 茂 議員
選挙区 西伯郡 会派 自由民主党



問 ①各部門の専門家を集めたプロジェクトチームで、今後の鳥取県の農業のあり方を検討しては②中山間地域に畜産業を導入することと地域に活力を③種雄牛造成事業の予算を繁殖雌牛群の導入事業に切り替えては。
答 ①鳥取県農業活力増進研究会で、心のこもった農業の育成もテーマとして話し合っている。②放牧等の畜産の活用について、事業化を新年度に向けて検討していく③導入事業の拡充を新年度予算で議論していく。

東京五輪対応 食品偽装問題

福田 俊史 議員
選挙区 八頭郡 会派 自由民主党



問 ①東京五輪に向け、キャンペーン地誘致などを担当する新しい組織を設けては②食材偽装問題を受け、県職員を食品Gメンとした独自の監視活動や条例を制定するなどして食のみやこ鳥取県のブランドを守る取組を進めては。
答 ①知事部局内に設置を検討しキャンペーン地誘致、全国大会誘致などを有機的に図っていききたい②食品Gメンの設置は検討したい。条例の設置は国の法改正を見ながら条例の改正ないし新設を検討してみたいと思う。

指定管理制度 臓器移植ほか

銀杏 泰利 議員
選挙区 鳥取市 会派 公明党



問 ①指定管理は指名指定が多すぎる。連続3回指名後は公募に②臓器移植を更に進めよ③砂丘ピジターセンターは砂丘西側に設置を。
答 ①今後協議する。かにつき館は直営を指名指定に検討中②医療現場の機運向上、臓器提供意思表示率を3割に向け啓発実施、フォーラム等の開催推進。米子医療センターでは著名な専門医を迎えられ期待していて、腎センターの環境

じくりを進める③西側設置も含めて検討委員会に資料提供していく。平成29年夏ごろオープンを目指す。

中海の浄化と青少年育成

上村 忠史 議員



選挙区 西伯郡 会派 自由民主党

問 ①中海の浄化の為、三浜半島を横断する直径2mの管を布設しては②青少年の学力や教育環境は。

答 ①中海の水質管理は、国と両県で実施しており、管布設の件は協議会に紹介する。中海に流入する百々所の樋門操作の改良は国と検討をする②小中学生の学力は全国平均を上回り、上位の増、下位の減がある。体力は小中は全国十位前後。高校生の学力は平均を上回っている。教職員の心の健康管理も留意する。少年の再犯率は極めて少ない。

障がい者支援施策の充実を

長谷川 稔 議員



選挙区 倉吉市 会派 無所属

問 ①小規模作業所の自立支援法移行までを検証する必要があるのでは②新たな総合支援法で難病の取扱いはどう変わるか③障がい福祉サービス支給決定に先立つサービス利用計画の作成状況と相談専門機関と支援相談員の配置拡大は。

答 ①65事業所が、単独46、合併6、

サテライト8に移行し、運営の安定と質の向上につながった②県内では難病のALS、パーキンソン病等16名が新たに対象となった③相談支援員が策定に集中できるように補助金での対応を市町村に求める。

県リサイクルフロンティア

谷村 悠介 議員



選挙区 鳥取市 会派 無所属

問 県東部のレジ袋有料化は県中西部にも広げるべきではないか。

答 レジ袋辞退率が87%になったので、中西部にもノーレジ袋推進協議会を開き、理解に努める。

問 リサイクルフロンティアイン鳥取で紹介された食べ残しを減らす運動、生ゴミ堆肥、紙おむつのペレット燃料化、紙ゴミ再利用等は積極的に取り組んではどうか。

答 食べ残し減量は調査や呼びかけを考える。リサイクル推進の交付金の新年度予算で要件設定の変更を検討してみたい。

農作業事故の情報不十分

伊藤 保 議員



選挙区 東伯郡 会派 絆

問 農林水産部の資料では、この6年間の農作業中の事故は53件で、22人が亡くなっている。しかし、県警が交通事故として扱った農作

業者の事故は18件。うち農林水産部資料との重複は3件のみで情報共有されていない。事故事例の把握の方法を再検討すべきではないか。

有害鳥獣被害防止の施策

内田 博長 議員



選挙区 日野郡 会派 自由民主党

問 ①被害対策は広域的な対応一斉駆除などの取組が必要ではないか②猟銃の所持許可更新時の技能講習免除制度を有効活用すべき。

答 ①広域的対応は、兵庫県と鳥取県共同で鳥獣被害対策の仕組み作りを始めた。中国五県では中国地域野生鳥獣被害対策ネットワークを設立したので、一斉駆除など県境をまたいでのやり方等議論していく②(警察本部長)鳥獣被害防止特措法が改正され、要件に合致すれば技能講習が免除される負担軽減がある。今後とも周知に努めたい。

人口減少への歯止め対策を

岡田 智志 議員



選挙区 八頭郡 会派 希望

問 少子化と過疎化対策の視点から①軽自動車税の増税②鳥取空港5便化の活用策③中山間地への企業誘致サポーター制度の創設④高校生への遠距離通学費補助の創設について知事、教育長に伺う。

答 ①県内の意見も聞きながら国の動きを注視したい②修学旅行や森林セラピーなど新しい需要の掘り起こしを模索したい③様々なチャネルを駆使して、様々な方に応援いただき、誘致を進めたい④(教育長)学校・保護者から実情や思いを聞き、検討を重ねていきたい。

フードバレー鳥取に創造を

砂場 隆浩 議員



選挙区 鳥取市 会派 希望

問 ①国際認証は輸出だけでなく、国内スーパー等でも求められる時代になる。認証を支援する「食の安心安全プロジェクト」は継続拡大すべきだ②オランダのワーヘニンゲンのような食の集積拠点フードバレーを鳥取県に創造しては。

答 ①大きな方向性はどちらに流れている。新年度に向け、なお一層拡充したい②非常に興味深い提案。産官学を軸に食品加工系の一大集積地を目指すには、一つ地域モデルになるのではないかと。今後の施策の中で生かして参りたい。

障がい事業所 工賃上昇策は

瀧辺 義孝 議員



選挙区 鳥取市 会派 公明党

問 鳥取県の、平均工賃は1万686円で6年連続増加している。しかし、取りまとめ表を見ると、平均より低い事業所が多い事が分かった。平均工賃が届かない事業所に対し、今後どのように取り組むか伺う。

答 各事業所の状況の自己認識を促すカルテ、ベンチマークを導入した。カルテを書くことで、自律的な発展を促している。今後も、障がい者がともに生き、働ける社会をめざし、地域社会の応援体制を整えていく。

漁業の問題点 環日本海交流

森岡 俊夫 議員



選挙区 境港市 会派 希望

問 ①県下一漁協構想を推進するため境港市と鳥取県漁協の合併を推進すべきでは②外国人観光客のため観光地にWiFi環境の整備やAR技術を使ったアプリを開発して利便性を高めてはどうか。

答 ①組織再編を通じて県の水産業の競争力を高めるのであれば柔軟に考える。②WiFi環境は国際標準になり始めている。新年度予算の中でルーターの貸出制度も考え

ており、ARも多言語対応を応援整備する。鳥取県も国際リゾートを
目指す以上、環境整備は行っていく。

未来を拓く 生涯スポーツ

横山 隆義 議員



選挙区 東伯郡 会派 希望

問 ①小中高の体育連盟の連携で
体育教育の充実を②ウォーキング
やグラウンドゴルフなど生涯スポー
ツで鳥取県の未来を拓くべきでは。

答 ①(教育長) 体育専科教員と
体育担当教員のチーム授業で効果
を上げている。県スポーツ推進計
画も策定し、環境整備に全力で取
組みたい②(知事) 全市町村で取
り組みが始まっており、名所旧跡
を回るなど多様なコース設定も考
え、ウォーキング立原へ意欲的な
新年度予算を考えたい。ワールド
マスターズゲームズでグラウンド
ゴルフの県内開催を目指したい。

原子力発電所 知事の認識は

伊藤美都夫 議員



選挙区 倉吉市 会派 希望

問 福島第1原発事故から2年
9ヶ月も経つが、今も14万2千人が
避難生活を強いられ、汚染水は増
え続け、廃炉の道筋も混乱している。
島根原発2号機の再稼働を含め、
原子力発電とエネルギー政策の今

後と、鳥取県の基本的姿勢を伺う。

答 今、原子力発電をコアな電源
と決めるのは余りにも性急すぎ
る。原子力に過度に依存せず、風
力や太陽光など緩やかなエネル
ギー革命を起こすべきだ。島根原
発の再稼働では絶対に事故がなく
安全、立地県と同様の扱いの2点
を強く求めたい。

陸上養殖への 支援充実を

広谷 直樹 議員



選挙区 岩美郡 会派 自由民主党

問 栽培漁業センターの体制はど
のように充実が図られたか。

答 山口県から専門研究員を一名
採用、井戸海水一基増設など、今
後の技術開発や養殖用種苗の供給
に備えて生産体制を充実させた。

問 泊漁港県有地で地元建設業者
2社が陸上養殖事業化に向けて取
り組んでいるが、今後、県として陸
上養殖に対する支援策はどうか。

答 井戸の試掘、陸上養殖の実証
実験のための費用、販路開拓のた
めのマーケティング費などを平成
26年度当初予算の中で計上したい。

障がい者雇用 ICT教育

澤 紀男 議員



選挙区 米子市 会派 公明党

問 ①障がい者雇用を促進する上

から、知的障がい者の県正職員採
用試験を実施してはどうか②特別
支援学校の児童生徒への一人一台の
タブレット整備を推進すべきでは。

答 ①全国では5県が知的障がい
者を正職員として雇用している。
他県の実情をよく調べ、鳥取県な
りの方式で正職員採用を視野に入
れ進めたい②(教育長) 生徒の能
力や障がいに応じ、一人一人に合
わせて端末をカスタマイズしてい
く必要があると思う。一人一台の
整備について検討したい。

秘密保護法と 消費増税対策

興治 英夫 議員



選挙区 倉吉市 会派 絆

問 ①特定秘密保護法の問題点②
同法で県として懸念することは③
消費税引き上げについて、中小企業
の適正な価格転嫁、納税のための資
金繰り、売り上げの反動減対策は。

答 ①役所の中に監視機関を設け
るのでは実効性に懸念がある。法
の運用に対し不断の監視が必要②核
防護や病原体の管理情報が必要③
供されるのか。不都合は国に言う③
官民で消費税対策組織を作る。公
共事業予算を確保し、価格転嫁では
特に建設業系を県が調査、指導する。
資金繰りに超長期の融資を考へる。

原発再稼働へ 周辺県意見を

森 雅幹 議員



選挙区 米子市 会派 絆

問 原発再稼働に対し、周辺県は
未だに意見を言える仕組みがない。
原発周辺県が一つになって国にも
の言う組織作りを、知事が先頭
に立って旗を振るべきだ。

答 現時点での周辺県は、まと
まって行動を起こすことには消極
的だ。これまで何度も国に「周辺
の意見を聞いたうえで再稼働につ
いて考えるシステム作り」を要請
してきたが、国からは未だにはっ
きりした発言は無い。中国知事会
関西広域連合などを利用し、今後
も粘り強く要望していきたい。

児童手当差押 違法の判決

市谷知子 議員



選挙区 鳥取市 会派 共産党

問 ①児童手当を狙って差押えて
ないとの県の主張は「一、二審とも認
めない違法判決だった。違法行為
に対する謝罪を②納税の猶予・免
除を伝えず、徴収ありきの冷たい
対応だったのでは③今後の対応は。

答 ①違法とされた点は誠意を
もって改め、納税者に不便をかけ
た点はお詫びする②問題点は真摯に
受止め、納税者の実情を聞き、配慮
に真剣に取り組む③差押禁止財産の取

扱いをマニュアルに明文化する。差
押え後、申し出で、差押禁止財産と
確認できれば差押えを解除する。

航空機と地域 交通の連携

福岡 裕隆 議員



選挙区 西伯郡 会派 絆

問 米子空港の航空機増便への対
応として、駐車場増設だけでなく、
もっと、鉄道やバス等の地域公共交
通機関を結ぶ施策をするべきでは。

答 マイカーも含め様々な交通手
段を整備することが、急務に浮上し
てきた中、地元からの要望が強かつ
た駐車場の整備を進めると共にパ
スについても協力が得られる見通
しである。航空需要の拡大が各種
公共交通に結びつくよう、新年度
に向けてJRやバス会社、観光関
係の事業者等、様々な方々と協力
し合い、体制づくりをしていきたい。

共生社会の 実現に向けて

浜崎晋一 議員



選挙区 鳥取市 会派 自由民主党

問 ①重症心身障がい児者の受入
施設の確保だけでなく、家族・本
人に寄り添った事業展開が必要で
はないか②障がい者芸術・文化祭
を障がい者と健常者が共に参加し、
楽しみ、理解する「共生の祭典」と
するため、早期に文化部局とも連携

した取組が必要だと思っておりますか。
答 ①新年度予算に向けて、当事者の皆様と意見交換し、どのような事業が可能か詰めていきたい②市民、県民へと広がる大会にしなければならぬ。芸文祭の担当課を設置するなど、組織的に充実させたい。

学校教育の充実を

錦織陽子議員



選挙区 米子市 会派 共産党

問 ①文科省は全国一斉学力テストの学校別公表を来年から認めることに転換した。公表すべきでない②特別支援学級の教員の専門性に課題があるのでは③他校の通級指導学級に通う場合の経費を公費で④中学の通級指導室の拡充を。
答 ①データは宝の山。全国的、全体的視点で多角的に分析し改善策をたてる②特別支援教諭免許の取得率向上や校内体制整備を図っていく③特別支援教育就学奨励費の対象となる。制度の周知を行う④必要。国に強く要望したい。

森の幼稚園他二題を問う

浜田妙子議員



選挙区 米子市 会派 絆

問 ①森の幼稚園充実に向け調査研究と制度化を②西部のベンチャー企業ナノオプトニクスエンジニアの実

態説明と支援策検証を③女性警察官の増員と環境整備を早急に。
答 ①教育効果が上り、安定運営可能な助成スキームや法的措置づけ等を、来年度に結論づけたい②説明が足りなければナノ社に要請したい。県として開発委託等追加支援は考えていない。ベンチャーの厳しい状況に配慮しつつ、サポートを考える③意識改革をしつつ、採用登録拡大を一層推進する。

子育て王国とっとり条例

安田優子議員



選挙区 境港市 会派 自由民主党

問 本県では、子育て王国とっとり条例を制定して、子育てしやすい環境整備に向けて、全国のトッピープランナーとして走り出そうとしているが、妊娠・出産による退職勧奨等の働く女性への不利益な実態が顕著としてある。子育ての入口としての妊娠・出産までの支援も行政の重要な課題であり、条例は、子育て対策と同時に、働く女性が安心して妊娠・出産出来るように意を払っていただきたい。
答 そのような目線で、条例の原案を見直させていたたく。

会派正式名称

- 自由民主党…鳥取県議会自由民主党
- 絆…鳥取県議会会派「絆」
- 希望…鳥取県議会会派希望(のぞみ)
- 公明党…公明党鳥取県議会議員団
- 共産党…日本共産党鳥取県議会議員団

11点の改善を文書指摘 平成24年度決算を認定

決算審査特別委員会で審査中の、いずれも平成24年度の「一般会計等決算案」「県営病院事業会計決算案」「県営企業会計決算案」の3議案は、速やかに検討又は改善すべき事項を文書並びに口頭で指摘したうえで、11月定例会最終日の17日、本会議で賛成多数で認定した。

鳥取県議会も、かつては年度末の2月議会で決算審査をしていたが、これでは決算審査の結果を新年度予算に反映させることができない。そこで、決算審査特別委員会を毎年設置し、県営病院事業会計決算案及び県営企業会計決算案は9月定例会、一般会計等決算案は11月定例会で上程してもらうこと

とになった。
 審査も効率的に行うため、総務教育、福祉生活、農林水産商工、地域振興県土警察、県営企業、病院事業分科会を設けて審査を分担し、部局ごとに、主管部局長らから決算の内容等の詳細な説明を聞き、質疑、現地調査などの審査を続けてきた。
 その結果、文書指摘11項目、口頭指摘7項目をまとめ、執行部に通知した。2月議会では、これらの指摘事項が、予算にどのように反映されたか、報告を受けることになっている。

文書指摘の要旨

- (1) NPO、住民団体等の支援** 自主財源の乏しい中で、活動継続に大変苦労している団体も少なくない。資金面の支援を充実すべきで、各種の相談対応、講座・研修等の開催など、適切かつ柔軟な支援を行っていくべきです。
- (2) 河北省との交流** 中国河北省との友好提携は、目的が希薄になり、理念やイメージばかりが先行している感が否めません。交流事業のあり方について検討すべきです。
- (3) 米子ソウル便の現状と今後の見通し** 支援は自立に向けた施策にシフトすべきで、平成26年度末を持って、アジア航空への補助を見直すべきです。
- (4) 精神保健福祉センター** 医師は所長一人。鳥取大学医学部、県立病院等に医師の派遣を要請し、人的交流を検討すべきで、現在ほとんど使われていない施設は、施設のあり方も検討すべきです。
- (5) 皆成学園** ニースに合うよう個室を充実させるなど、環境整備が必要。児童が退所後に入所する各種施設の拡充・支援を検討し、入所時から退所後の生活を見据えた移行支援を充実させることが必要です。
- (6) 鳥取暮らし農林水産就業サポート事業** 農業分野は「住宅・通勤支援制度」を復活させ、木材産業分野では就業前研修の創設や支援年限を1年から2年への延長を検討すべきです。漁業分野は研修のあり方を点検し、より着実に就業できるよう改善をすべきです。
- (7) 6次産業化・農商工連携における各部局・関係機関の連携** 県内福祉関係施設では地元食材等の利用が十分に進んでいない。東・中・西に設置されている「とっとり農商工連携こらぼネット」で検討が図られるべきです。
- (8) 県立病院の未収金対策** 債務者の支払能力等を整理した「債権分類」が急務。作成した滞納者情報リストを使い、速やかに債権分類を行い、効果的な対策を講じて欲しい。その際、生活保護等の紹介などの配慮もすべきです。
- (9) 療養環境等の改善** 厚生病院は、病室の酸素吸入器・吸引装置や照明の早期の是正が必要で、中長期的な施設整備に向けた検討を始めるべきです。中央病院の建替整備計画策定では複合災害も想定すべきです。
- (10) 県立高等学校改革のあり方** 中学校卒業生が激減すると推計され、郡部の高等学校の存続が危ぶまれる。全国から生徒を呼び込むことも含め、地域と一体となって、魅力向上と特色ある学校づくりを進めるべきです。
- (11) 県立博物館のあり方** 建物・設備の老朽化等に伴う問題が顕著で、資料数が収蔵庫の収容量を超過している。ゼロベースから議論を始め、早急に今後のあるべき姿の方向性を決定すべきです。